



前号で、市場価格調整付生命保険は、市場金利が上昇すると解約返戻金が減少するカラクリを教えてくださいました。今号では逆に市場金利が下降すると解約返戻金が増えるカラクリを教えてください。



保険会社は表面利率10%の償還期間10年(満期)の債券を運用しています。5年経過した時点で契約者から保険会社に解約返戻金の請求がありました。保険会社は契約者に支払う解約返戻金を用意するために表面利率10%の償還期間10年(満期)の債券を売却して解約返戻金を用意しなければなりません。ちょうどそのときに市場では償還期間5年(満期)で表面利率4%の債券が売られだされていました。10%の債券は需給関係からいえば投資家は欲しがります。従って債券価格は上がります。では、債券価格はいくらになるのでしょうか? 計算方法はちょっとむずかしいので計算過程は省略して答えは125万円になります。債券価格100万円は125万円で売り出されたのです。というわけで、市場金利が10%から4%に下がると債券価格は上がって解約返戻金は増えるわけです。では、100万円の債券価格を125万円にすれば利率4%の債券と同じ利回りになるかを検証してみましょう。

債券価格100万円の債券を125万円で購入、表面利率10%、償還期間(満期)5年

債券価格	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
100万円	利息 10万円	利息 10万円	利息 10万円	利息 10万円	利息 10万円

5年間の利息収入	$10\text{万円} \times 5\text{年分} = 50\text{万円}$
償還差益(※)	$100\text{万円} - 125\text{万円} = \blacktriangle 25\text{万円}$
年利回り	$(50\text{万円} - 25\text{万円}) \div 125\text{万円} \times 100 \div 5\text{年} = 4\%$

※償還差益とは：債券の購入時価格と償還時(満期)の債券価格との差額収益のこと。



表面利率10%ですから年間利息は10万円で、5年間で50万円になります。

5年後の満期の償還差益は100万円の債券を125万円で購入したのですから▲25万円になります。

利息収入は50万円から償還損▲25万円が引かれて差益は25万円になります。

年利回りは差益25万円÷元本125万円×100÷5年=4%になります。

表面利率10%100万円の債券価格が125万円になると表面利率4%の5年債券と同じ価値になるというわけです。

市場金利が上がれば債券価格は下がり、逆に市場金利が下がれば債券価格は上がるカラクリを前号から続いて説明しましたが、おわかりいただけただけでしょうか。このように「市場価格調整付」と保険パンフレットに書かれている生命保険は、

- ・生命保険料が「債券」で運用されていること。
- ・債券の運用価格が解約返戻金に連動すること。
- ・債券は市場金利が上がると債券価格が下がり、市場金利が下がると債券価格が上がること。その結果支払保険料より解約返戻金が増減すること。

これら3要素を契約者が生命保険会社と約束して印鑑をおしたことを意味しているのです。



市場価格調整付生命保険と債券価格のクラクリはわかりました。
もうひとつ「市場価格調整付生命保険」は外貨建てになっています。どんなリスクがあるか教えてください。



「外貨建」生命保険だと支払保険料を「円」から「外貨」に交換して保険料を支払います。逆に、解約返戻金、保険金、満期金は「外貨」から「円」に交換して受け取ることになります。その結果、市場価格調整付生命保険は為替相場リスクを負うことになります。

また、「円」を「ドル」に交換する場合の為替手数料がかかります。これは「円」を「ドル」に交換する場合と「ドル」を「円」に交換する場合の両方にかかります。

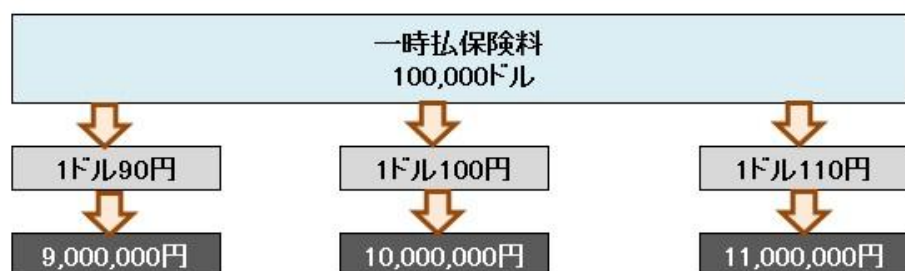


為替相場リスクについて具体的な内容を教えてください。



例えば、一時払い保険料100,000ドル保険会社に払い込む場合に銀行から「円」で「ドル」を購入しなければなりません。下記のように1ドル=90円、100円、110円によって円で支払う保険料は以下ようになります。

1ドル110円より90円の円高の方が支払保険料は安くなります。従って外貨建て生命保険を契約するときはドルと円の交換を気にしなければなりません。

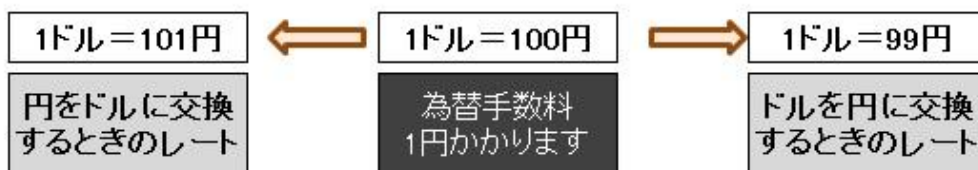




円をドルに交換、ドルを円に交換する際に必要な為替手数料について教えてください。



下図のように「円」を「ドル」に交換する、逆に「ドル」を「円」に交換するとなると「為替手数料」が往復1ドルあたり1円銀行に払うこととなります。解約返戻金を「円」で受け取るとなると銀行が「1円」の為替手数料を取るから解約返戻金から1ドルあたり1円銀行に支払うこととなります。



円をドルに交換、ドルを円に交換する際に為替リスクと為替手数料がかかるとなると外貨建て生命保険は複雑ですね。



例えば、外貨建て支払保険料100,000ドルを為替レート1ドル=100円で支払うと10,100,000円になります。解約返戻金が105,000ドルに増えても解約時の為替レートが90円になっていると解約返戻金は9,345,000円になってしまいます。ドルベースでは解約返戻金が増えていても為替相場と為替手数料によって損をしてしまうことがあります。

外貨建て保険料100,000ドル市場価格調整付生命保険

為替レート 1ドル=100円	解約返戻金 105,000ドル	為替レート 1ドル=90円
支払保険料 10,100,000円		解約返戻金 9,345,000円